

【 工 事 】

[標準様式例6-2]

(第2回(最終))契約変更の内容

契約変更年月日	令和 7年12月26日
契約業者名	森建設株式会社
契約業者の住所	茨城県筑西市関本下46番地1
工事の名称	R6圏央道側道舗装修繕他その3工事(第2回変更)
工事場所	自) 茨城県坂東市借宿 至) 茨城県坂東市弓田
工事種別	アスファルト舗装工事
工事概要 (変更した内容について記述する)	道路修繕 1式 道路土工 1式 舗装工 1式 防護柵工 1式 区画線工 1式 構造物撤去工 1式 応急処理工 1式 仮設工 1式
工期(自)	令和 7年 1月24日
工期(至)	令和 7年12月26日
契約前の変更金額	¥87,571,000
変更金額	増 ¥26,015,000
変更後の契約金額	¥113,586,000
	<p>1. 道路土工 現地調査の結果、施工範囲に差異があったため、防草処理工の数量を変更(増)する。</p> <p>2. 舗装工 1) 現地調査の結果、路盤の損傷が確認されたため不陸整正を追加する。 2) 関係機関との協議の結果、施工箇所の通行止めが可能となり、急速施工から通常施工に変更したため、舗装打ち換え工を削除し、アスファルト舗装工を追加する。 3) 現地調査の結果、施工範囲に差異があったため、防草アスファルト舗装工の数量を変更(増)する。</p> <p>3. 防護柵工 1) 現地調査の結果、施工数量に差異があったため、金網・支柱の数量を変更(増)し、動物侵入防止スクリーンの数量を変更(減)する。 2) 現地調査の結果、再利用予定だった立入防止柵の一部の溶接メッシュが損傷していたため、立入防止柵の溶接メッシュ交換を追加する。</p>

変更理由

4. 区画線工

現地調査の結果、施工延長に差異があったため、区画線工の数量を変更(減)する。

5. 構造物撤去工

1) 現地調査の結果、施工数量に差異があったため、防護柵撤去工の数量を変更(減)する。

2) 関係機関との協議の結果、施工箇所の通行止めが可能となり、急速施工から通常施工に変更したため、構造物取壊し工、運搬処理工を追加する。

6. 応急処理工

関係機関との調整の結果、引渡し箇所において立入防止柵、防草シート設置範囲にある草・樹木等の除草・撤去要望があったため、応急処理事業工を増工する。

7. 仮設工

現地調査及び関係機関との協議の結果、交通管理工の数量を変更(増)する。

8. 共通仮設費

1) 監督職員との協議の結果、快適トイレを追加したため、営繕費を追加する。

2) 監督職員との協議の結果、道路施設基本データ作成費を削除し、施工調査費を追加する。

9. 工期

工期は元設計のとおりとする